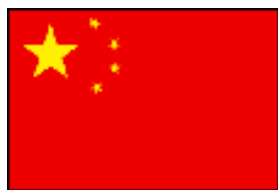


✻✻ 八王子国際フレンドからのメッセージ ✻✻



中国



プロフィール

- 名前：邵 婷婷 (ショウ テイテイ)
- 出身地：天津
- 日本在住：2年半
- 大学：杏林大学

🍁 日本での暮らし紹介 🍁

皆さん、こんにちは。杏林大学国際協力研究科のショウテイテイと申します。私は日本で、多くのことを体験し、たくさんの人と出会い、楽しい日々を過ごしています。もちろん、日本で困ったこともあります。その時は学校の先生や友達、八王子市のボランティアの皆さんが助けてくれました。そのことに本当に感謝しています。初めての海外での生活は、日本の八王子市で本当によかったと思います。

🍃 故郷の紹介 🍃

私のふるさは中国の天津（てんしん）です。天津（てんしん）は中華人民共和国北部の中央直轄市で、略称は津です。環渤海（ぼっかい）湾地域の経済的中心地で、中国北部最大の対外開放港です。首都北京市とは高速道路、高速直通列車、北京・天津高速鉄道で結ばれています。もとは海河の河港でしたが、現在は、河口の塘沽（とうこ）区に大規模な港湾やコンテナターミナル、工業地帯が形成されています。



天津の歴史

天津は、隋代に開通した大運河、南運河と北運河の交差点の三会海口【現在の金鋼橋三岔（さんちゃ）河口】から発祥しました。中唐以降は南方からの食糧輸送基地となり、金代には直沽寨、元代には海津鎮が設置され食糧輸送以外にも軍事拠点としての要衝となりました。1400年（建文2年）、朱棣が兵を率いて南下、皇位を剥奪すると、皇帝が河を渡った場所を意味する天津という地名がつけられました。1404年（永楽2年）、軍事基地として、衛が設置され、翌年には天津左衛が、更に2年後には天津右衛が設置されました。清代の1652年（順治9年）には三衛が統合され天津衛となり1725年（雍正3年）には天津州、1731年（雍正9年）に天津府と改称されました。そして、天津府の下部には天津県、静海県、青県、南皮県、塩山県、慶雲県、滄州が管轄されました。清末には天津は直隸総督の駐在地とされ、李鴻章や袁世凱による洋務派の拠点となりました。1858年（咸豊8年）には、アロー戦争（第2次アヘン戦争）で英仏連合軍に敗北し天津条約が締結されました。この条約により1860年（咸豊10年）に天津は開港され、以後北京の外港として急速な発展を遂げました。このため19世紀後半から20世紀前半にかけて、イギリス、フランス、アメリカ、ドイツ、オーストリア、ベルギー、イタリア、ロシア、日本が相次いで租界を設置し、中国で最も租界の数が多い都市となりました。1900年の義和団の乱では8カ国連合軍が天津から上陸し、北京を占拠しました。中華民国が成立すると1927年（民国16年）に天津市に昇格し、その後の日中戦争では1937年（民国26年）から1945年（民国34年）まで日本軍により占領されました。戦後は1945年から1947年（民国36年）までアメリカ軍基地が設置され、1949年に中華人民共和国が成立すると天津は直轄市に指定されました。その後、中国の工業及び貿易の拠点として発展し、現在に至っています。



天津甘栗と天津飯

天津と言われて、皆さんが思いつく物は、天津甘栗と天津飯ではないかと思いますが、実は天津甘栗は天津産ではなく、そして、天津飯は天津にはありません。実は、天津甘栗は河北省産の栗を使用しています。天津の港から出荷されているため、日本では天津甘栗と呼ばれています。

天津飯

天津飯（てんしんはん）は、昭和の日本に誕生した中華料理です。「天津井（てんしんどん）」、「蟹玉井（かにたまどん）」という名でも呼ばれています。天津産の良質米である「小站米」を使った、蟹肉入り卵乗せ丼という意味で、「天津芙蓉蟹肉飯」という料理名がつけられていましたが、読みづらい「芙蓉蟹肉」がいつの間にか省略され、「天津飯」となったと考えられています。



皆さん機会があれば、ぜひ中国の天津に行ってみてくださいね！